

『父に海上自衛隊入隊を誓う』 ～ 海上自衛隊横須賀基地研修 ～



「きりしま」乗組員の父に誓う志願者

神奈川地方協力本部（本部長 高田 充一 等海佐）は、平成26年8月25日（月）から8月27日（水）の3日間、海上自衛隊横須賀地方総監部の支援を受け、東部方面管内の9〇自衛隊地方協力本部と連携し、海上自衛隊横須賀基地研修を実施した。この研修は、東部方面総監の命を受け、神奈川地本長が担任官となり、海上自衛隊入隊希望者等に対して海上自衛隊の魅力を紹介し、志願意欲の一層の向上を図るため、初の試みとして実施された。

参加者は、海上自衛隊の概要説明、大型曳船による湾内クルーズ、護衛艦「ゆうぎり」や「やまゆき」の艦内見学、並びに隊員食堂での体験喫食などと盛りだくさんの内容を満喫した。また、艦内見学の際、この春、海上自衛隊に入隊し、配置されたばかりの新隊員が教育を受けている姿も見られ、参加者は興味深そうに見入っていた。

特に、父親が護衛艦「きりしま」に乗艦しているという参加者は、「早く入隊して父のように海の上で働きたい」と語っており、父親から贈られた財布を握りしめながら「きりしま」に熱い視線を送っていたのが印象的であった。

神奈川地方協力本部は、「今後も各種研修・見学等を通じて自衛隊の魅力を発信し、自衛隊への関心・志願意欲の促進を図っていく」としている。

広島市土砂災害に伴う災害派遣の写真パネルを展示 「ビックレスキューかながわ」



広島市土砂災害に伴う
災害派遣の写真パネル



非常用糧食の展示



ブースを訪れた黒岩県知事
(左から2人目)

神奈川地方協力本部（本部長 高田 充一 海佐）は、8月31日（日）、小田原市酒匂川スポーツ広場において開催された「ビックレスキューかながわ（平成26年度神奈川県・小田原市合同総合防災訓練）」のメイン会場に、防災広報ブースを開設し、災害派遣活動をPRした。

ブースには、広島市土砂災害に伴う災害派遣活動の写真パネルを展示し、黒岩県知事をはじめ多数の市民が訪れ、「自衛隊がんばっているね」などの声が聞かれた。また、非常用糧食（缶づめ）も展示し、災害派遣で使用されていることを説明した。

神奈川地方協力本部は、「今後も、各種防災訓練等に積極的に参加して、地方公共団体との連携の深化を図っていく」としている。

県西地域の防災訓練でPR



体育館に開設した自衛隊ブース（真鶴町）

神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 林一 陸尉）は、9月1日（月）、真鶴町、9月3日（水）箱根町、9月7日（日）南足柄市及び湯河原町の防災訓練に参加し、広報活動を行った。

事務所は、災害隊区担任部隊である第1高射特科大隊が実施した防災訓練に連携して広報ブースを開設し、災害派遣パネル展示、装備品パネル展示及び非常用糧食の展示を行い、自衛隊の災害派遣活動を広報した。参加者からは、「災害派遣のパネルを見て震災の恐ろしさを改めて実感した。普段からしっかり備えをしていきたい」「災害派遣での自衛隊の隊員さんの活動に感謝しています。自分も人のために尽くす職業を目指したい」などの声が聞かれた。

小田原地域事務所は、「平素から、第1高射特科大隊及び自治体等と連携して、自衛隊をPRしていく」としている。